

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

14

一〇. 熔鉱炉及コークス炉ニ対スル巡回修理班ノ設置ニ関スル件

現在日鉄全作業所ニ於ケル熔鉱炉ノ数ハニ九基同コークス炉ハ休止
及改造中ノモノヲ除キニ八團ノ多数ニ上リ之等ノ定期修理ハ何レモ
大工事ニシテ一時的ニ多数ノ人員ト在大ナル資材ヲ要スルモノナリ依
テ当社ニ於テハ曩ニ「熔鉱炉及コークス炉ニ対スル巡回修理班ナルモノヲ
設置シ之等ノ定期的大修理ヲ要スルモノニ対シ突発的ノ事故ノ生
ザル限リ計画的ニ順位ヲ定メテ右修理班ヲ派遣シテ之ガ修理ニ
當ラシメ以テ

(一) 修理ノ適正且ツ迅速

(二) 修理用人員及資材ノ能率的利用

日本製鉄株式会社

日本製鐵株式會社

(三) 修理技術ノ改善向上

(四) 修理工員ノ養成

ヲ図ルコトナレリ

依リテ各作業所ニ於カレテハ差當リ今後ニケ年間ニ於ケル
溶鉱炉及コークス炉ノ修理計画即チ修理時期修理期間
工作範圍所要資材等凡ソ工事施行上必要ナル事項ヲ調査
取纏メノ上当局宛通知ヲ願ヒ当局ニ於テハ之ニ基キ資材ノ需給
其他ヲ勘案シ上日鐵人全作トシテノ綜合修理計画ヲ樹立シ
本修理班ノ円滑ナル運用ヲ図ルコトニシタシ

而シテ修理ノ範圍及程度ハ不取敢溶鉱炉及コークス炉ノ定期的

大修理ニシテ炉体煉瓦積ヲ同様トセルモ將來ハ鉄骨組立等
ニ迄及ブ意図ヲ有ス

修理班ノ構成ハ差当リハ播磨鉄所所在ノ職員及工員五〇名
程度ヲ以テ各々一單位分ヲ組織シ手傳等補助的ノ者ハ修理
而シテ適當ニ之ヲ充足スルコトセリ

秋

一〇、熔鑄爐及コークス爐ニ對スル巡廻修理班設置ニ關スル件

一、巡廻修理班設置ノ目的

決戰態勢下ニ於ケル鐵鋼生産確保ノ爲應急措置トシテ各作業所ニ於ケル熔鑄爐及コークス爐ノ修理ヲ計畫的ニ實施シ併而左記目的ヲ達成セントス

イ、修理ノ適正且迅速ヲ期スルコト

ロ、修理ニ要スル人員及資材ノ能率の利用ヲ圖ルコト

ハ、修理技術ノ改善向上ニ努ムルコト

ニ、修理工員ノ養成ヲ圖ルコト

二、修理班ノ運用

各作業所ニ於テハ今後二箇年間ニ於ケル各熔鑄爐及コークス爐ノ修理計畫ニ關シ左記項目ニ付來ル八月末日迄ニ建設局長宛報告スルモノトス

一、修理時期

一、修理範圍

定期的修理及大修理（小修繕ヲ除ク）

一、修理程度

差替リ煉瓦、耐火土、限ル修繕ハ鐵骨組立及機械ノ修理ニ及ブ意圖アリ

一、所要資材

一、其ノ他參考トナルベキ事項

建設局ニ於テハ右報告ニ基キ修理實施計畫ヲ樹立シ修理用資材ノ調達ヲ行ヒ直チニ計畫ニ基キ修理班ヲ派遣スルモノトス

三、修理班ノ構成

目下ノ處差當リ八幡製鐵所ノ關係職員及工員ヲ以テ各々三單位ヲ組織ス、其ノ内容ハ大略次ノ如シ

班 名	班 長	助 手	班 員	木 工	鍛 冶	其ノ他	計
熔鑄爐班	一名	一名	三〇名	五名	五名	五名	五二名
コークス爐班	一名	一名	二五名	五名	二〇名	五名	五二名

其ノ他手傳等補助者ハ夫々修理作業所ニ於テ適當ニ充當スルモノトス
尙本修理班ノ構成ニ就テハ八幡製鐵所ト協議ノ上更ニ詳細ヲ具體的ニ通知スベシ

八幡製鐵所 澤田 敬二